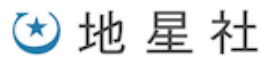


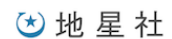
特定非営利活動法人 地星社

第7期 事業計画書(暫定版)

2018.4.1 - 2019.3.31



地星社とは



地上の星の溢れる社会を

地星社ができたいきさつ

2011年3月に発生した東日本大震災により、私たちは多くの困難に直面しました。しかしそうした困難に対し、多くの人や組織が立ち上がり、復興に向けて助け合い、支え合い、励まし合う活動を始めました。

震災は、私たちに大きな試練をもたらしましたが、その一方で私たちは、人が社会的課題に立ち向かう力の強さを改めて認識することとなりました。

社会をよりよくしようと活動する人や組織は、たとえ世の中に知られてなくても、地上に輝く星というべき存在です。私たちが震災からの復興を成し遂げ、その先に続く未来をつくっていくには、こうした地上の星たちを支え、増やしていくことが大切です。

そのための組織として、特定非営利活動法人地星社は2013年3月に設立されました。

私たちが目指すもの

私たちひとりひとりが地域づくり・社会づくりにかかわっていく社会の実現。

そのために私たちがすること

社会をよりよくする活動を行っている人や組織を支援し、増やしていく。

活動において大事にしたい原則

1. 信頼の原則

人や組織には、社会を変える力が本来備わっていることを信じ、その力が活かされるよう後押しする。

2. 互敬の原則

人を大事にし、互いに敬い合う関係性を築く。

個別支援を中心とした中間支援のかたちを模索しながら、組織基盤をつくってきました。

期	事業における主な取り組み	組織運営における主な取り組み
第1期 (2012年度)	・個別支援の開始	・組織の立ち上げ、法人化 ・組織の基本方針の決定
第2期 (2013年度)	・復興支援活動団体の状況の把握と分析	・専任スタッフの有給化
第3期 (2014年度)	・個別の社会的課題での可視化支援	・認定NPO法人取得
第4期 (2015年度)	・プロジェクト支援の本格化	・活動の基本の設定
第5期 (2016年度)	・地域資源の可視化(地域活動団体ガイドブックの作成)	・非常勤スタッフの雇用
第6期 (2017年度)	・被災地における地域人材の価値の明確化(支援員調査の実施) ・地域資源の可視化(地域活動団体ガイドブック2018の作成)	・非常勤スタッフの雇用

A. 相談・個別支援 事業概要

組織内外の課題への主体的な取り組みを支援します。

事業の背景

震災後、新しく立ち上がった復興支援団体への個別支援の必要性を感じたことが、地星社をつくったきっかけの一つであり、設立当初から資金調達や法人運営、認定NPO法人取得などのテーマで継続的な個別支援を実施している。

このように、相談・個別支援は地星社の基本となる事業であり、現在は特に、地星社が依頼を受けて企画・実施する方法から、研修やワークショップをしながら支援先団体と一緒に課題解決について考える方法に変えて、団体の主体性を尊重するようにしている。

今後はさらに、当事者や地域のステークホルダーも参加できるような支援のあり方を探っていく。

事業概要

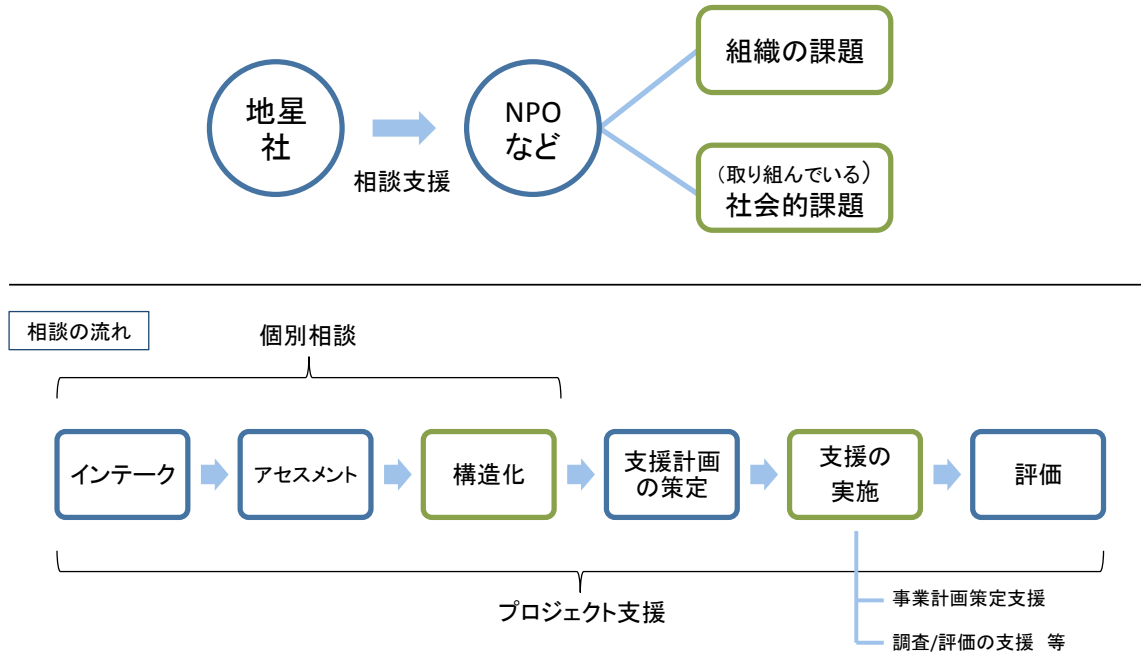
目的

調査・計画づくり・評価等についての個別支援をすることで、組織基盤強化や課題解決を促進させる。

実施内容

依頼を受けて随時個別相談を実施。必要な場合は支援計画を立て、プロジェクトとして行う。

個別の相談支援から、プロジェクト支援につなげていきます。



被災地のコミュニティ形成支援における課題を明らかにしていきます。

事業の背景

住まいの復興の進展に伴い、被災地での新たなコミュニティづくりは引き続き大きな課題である。復興公営住宅では高齢化率や独居の割合も高く、孤独死の問題も起きており、地域の中での支えあいの関係づくりが必要とされている。

新たなコミュニティ形成は住民だけで行うのは難しく、支援団体や行政機関のサポートが求められている。支援団体・機関が取り組みを効果的に行っていく上での課題として、①支援にあたる各主体の連携の促進、②地域人材の育成が挙げられる。

昨年度、地域活動団体を対象に実施したアンケートの結果からも地域での連携にまだ課題が大きいことは明らかであり、支援が求められている。また、今後の地域づくりにおいて地域人材の育成を具体的に進めていく上では、地域ごとの個別の課題を明らかにすることが必要である。

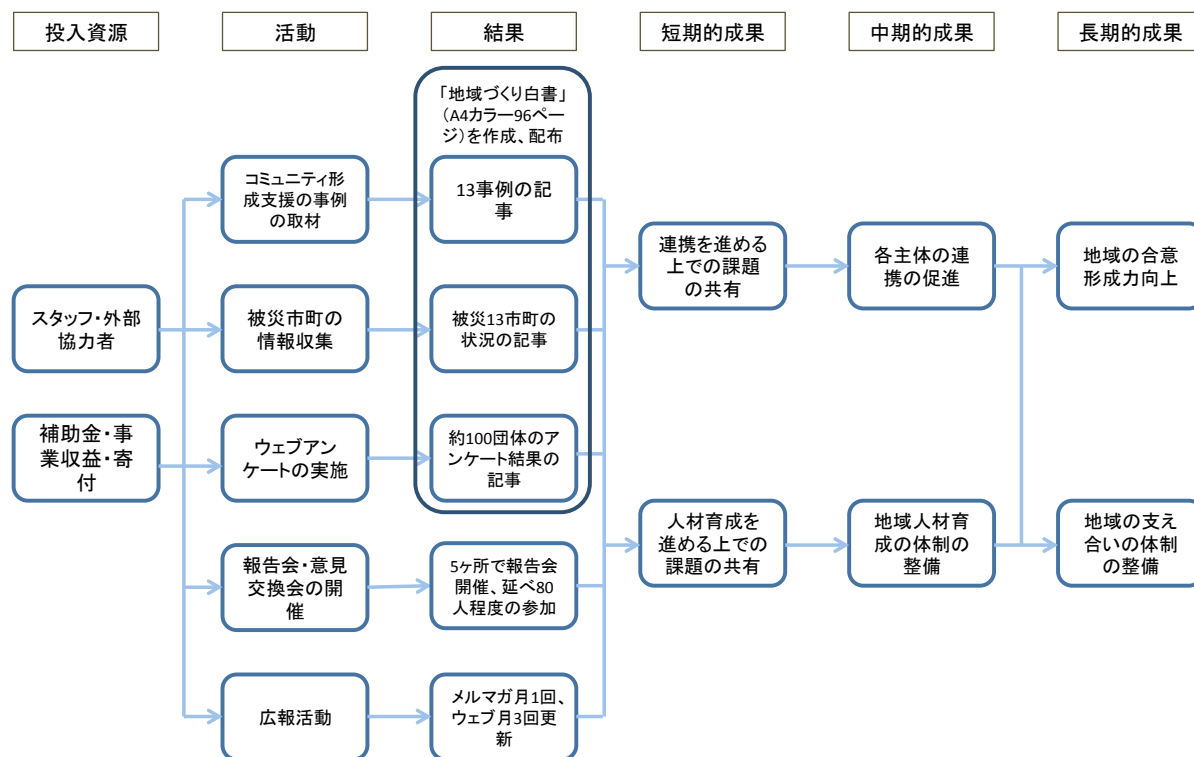
事業概要

目的

被災13市町の復興コミュニティ形成支援において、特に各主体の連携促進と地域人材育成をテーマにした白書を作り、各主体の連携の促進と、地域人材育成の課題認識の共有につなげる。

実施内容

- ①「宮城県 被災地地域づくり白書2019」の作成と配布をする。
 - (1)コミュニティ形成支援事例の取材をする。
 - (2)被災自治体のデータや情報の収集をする。
 - (3)地域活動団体へのウェブアンケートをする。
 - (4)報告会の開催と広報をする。
- ②活動報告会 & 意見交換会の開催と広報活動をする。



団体概要

名称	特定非営利活動法人 地星社
法人設立	2013年3月1日(任意団体設立 2012年9月1日)
認定取得	2015年3月31日
所在地	宮城県岩沼市中央4-8-77
役員	理事: 布田剛(代表)、真壁さおり(副代表)、河合豪雄、高橋陽佑 監事: 門田陽子、高田篤 (任期: 2017年7月1日~2019年6月30日)
会員数	正会員12名、準会員(賛助会員)15名、3団体
URL	http://chiseisha.org
メール	office@chiseisha.org

(2018年4月1日現在)